

10月度定例 山行報告		報告者	密岡	参加 メンバー	金子、村越、鈴木(隆) 密岡
		報告日	10/8		
山域	北アルプス	山行日	03年 10月3日(金) ~		
山名	奥穂高岳		03年 10月日(日)		

山行目的	北アの紅葉を楽しむ	コースタイム(天候:天気図記号)
------	-----------	------------------

配布先
集会:12
山行:1 リーダー
原紙:集会担当者

<p>ルート図(地図を見て正確に)</p>	<p>10月3日 21:10 刈谷発 24:30 沢渡着</p> <p>10月4日 05:30 起床 07:00 上高地着 07:40 上高地発 08:35 明神着 09:45 徳沢着 11:05 横尾着 12:30 吊橋着 14:00 涸沢手前 14:45 涸沢着</p> <p>10月5日 03:30 起床 05:00 涸沢発 06:00 ザイテン</p>	<p>06:55 奥穂山荘着 07:35 奥穂山頂着 08:50 奥穂山荘着 10:35 涸沢着 11:20 涸沢発 12:25 北尾根鞍部着 13:35 慶応尾根分岐着 14:45 砂防新道着 15:30 徳沢着 16:30 明神着 17:40 上高地着 23:00 刈谷着</p>
-----------------------	---	--

<p>山行報告</p> <p>【10月3日(金)】丸田町駐車場に集合、上高地に向かって出発！！沢渡の駐車場に到着して TENT を張っていると話し声がうるさかったのか？罵声の洗礼を受けつつ、眠りにつく……。</p> <p>【10月4日(土)】5:30 起床、とっても寒い朝。良く寝れた為体調は良い。装備の振分け、荷物の点検などをしてタクシーに乗込みみざ上高地へ。到着後すぐ暖かい「きのこ汁」を美味しく頂く。身体が温まりこのまま帰りたくなる。河童橋・焼岳をバックに記念撮影をし、今日の目的地涸沢へと進む。明神では私の大嫌いな鳩が出迎えてくれ、徳沢、横尾へと楽しく進む。横尾ではTV信州が紅葉の美しさを撮る為に来ている。いよいよ横尾から山へと入っていき、吊橋でしばし休憩を取る。残りどのくらいの時間がかかり、距離があるのか想像もつかない中でさらに頂上へ向かって歩き出す。勾配のある道を登って行くとだんだん綺麗な景色が目の前に広がってくる。それと共に狭い山道が大渋滞化する。オバ様たちのどよめきが前から後ろから……。歩きすぎたのか？足の付け根が痛くなる。無理をせず休憩を希望。すぐそこには色とりどりのテントが。でも足が思うように動かない。</p> <p>夜は雨が降り、とても寒い。少し高い所からテントの光を見ると昼間とは違った景色が幻想的でとても綺麗。「明日は足の付根の痛みが治って、晴れるように」と祈る。</p> <p>【10月5日(日)】足の痛みが治らず、頂上は断念。金子さんと村越さんの帰りを待つ。願いが通じて今朝は快晴！朝日で一瞬、赤くなる山に感動する。</p> <p>足の痛みは少し和らいだものの、痛いには変わりはありません。それでも 18 時までには上高地に戻らなければ、刈谷には帰れない為、必死は必須。しかし、帰り道は想像を絶するほどの険しい道の連続で、崖から落ちそうになったり、膝が笑っているのを誤魔化しながらやっとの想いで砂防新道に着く。「残りは平地だから」と思うと気が楽になるのだが、歩いても歩いても中々</p>		<p>フリースペース</p>
---	--	----------------

確認 (リーダー)
作成 (報告者)
密 03.10.06 岡

前に進まず、何度となく弱音を吐こうと試みたが私の分の荷物を持ってもらっている以上わがま
は言えず、明神では鳩に襲われそうになり、ボロボロになりながら河童橋を目指す。

やっとのおもいで到着した河童橋では、先に到着していた金子さんと村越さんが出迎えてくれた。
帰り道は景色などほとんど観る余裕などなく、「怖い・疲れた」しか口に出ません。

「案の定、足を引っ張った穂高山行」という結果に終わった。